

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：労働費 項：労政費 目：雇用促進費

事業名【新】「働いてもらい方改革」企業展実施事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 産業人材課 人材企画係 電話番号：058-272-1111(内3683)

E-mail：c11369@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 35,879 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	35,879	28,664	0	0	0	0	0	0	7,215
決定額	33,577	26,823	0	0	0	0	0	0	6,754

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

県内企業では人材不足が続いており、特に若年層の流出による就労減が大きな課題となっている。県内高校・大学出身者はもとより、県外に進学した人のUターン就職に向けた取組として、在学中から県内企業の魅力を知る機会を設けることが必要である。

さらに、幅広い人材の確保に向けて、新卒や転職者、外国人のみならず、フルタイムでは働くことができなかった人など人材の掘り起こしも重要である。

県では、この課題に向け、労働力の確保・定着と生産性向上を同時に実現する「働いてもらい方改革」を推進しており、企業や県民への浸透を図っていく必要がある。

(2) 事業内容

「働いてもらい方改革」に取り組む企業の情報発信と、働き手となる県民への浸透を図るため、次の事業を展開する。

○「働いてもらい方改革」取組企業を中心とした合同企業展

開催時期：「一般開催日」は6月と2月にそれぞれ2日間

「高校生の日」は12月に3日間

出展企業：県内企業のべ700社程度を想定

※「一般開催日」は400社程度、「高校生の日」は300社程度

○「働いてもらい方改革」普及支援セミナー

企業の相談に対応する機会の多い普及員、相談員向けのセミナーを開催する

○「働いてもらい方改革」普及啓発用冊子

(3) 県負担・補助率の考え方

「働いてもらい方改革」を推進し、労働力の確保・定着と生産性向上を図ることは、県内企業全体の課題としての人材確保に対応するためであり、県負担は妥当
国4/5負担[地域活性化雇用創造プロジェクト]活用

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	32	プロポーザル評価委員謝金
旅費	251	費用弁償、業務旅費等
需用費	166	消耗品費、会議費
役務費	184	通信運搬費
使用料及び貸借料	50	会場使用料、ETC使用料等
委託料	35,196	「働いてもらい方改革」企業展実施事業
合計	35,879	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「清流の国ぎふ」創生総合戦略
 - Ⅱ 政策の方向性 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
 - (2)次世代を見据えた産業の振興 ①産業を支える人材の育成・確保
- 岐阜県経済・雇用再生戦略
 - (3) 人材確保・雇用対策プロジェクト
 - <若者の県内就職促進>
 - (4) 若者のUターン就職・転職促進

(2) 国・他県の状況

近隣県（東海・北陸地方）では、愛知県、三重県、富山県、石川県、福井県の5県が県主催の合同企業説明会を開催している。

(3) 後年度の財政負担

該当なし

(4) 事業主体及びその妥当性

県が推進する「働いてもらい方改革」効果的に周知・広報し、県内企業の労働力確保や生産性向上を図るため、県が実施することは妥当。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 「働いてもらい方改革」に取り組む企業の情報発信と、働き手となる県民への浸透を図り、労働力の確保・定着を推進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①出展企業数				700		—
②訪問者数				2,600		—

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和5年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

令和6年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	有効求人倍率は依然として1.4倍を超えており、人材確保は喫緊の課題である
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・引き続き「働いてもらい方改革」の周知浸透を図り、取組企業を拡大する。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県内企業の事業に対する期待は大きく、また、県内高校からも企業研究の機会提供ニーズが高まっている。そのため、特により多くの高校の参加を促し、事業の効果拡大を図るとともに、企業のPR機会を確保していく。さらに、「働いてもらい方改革」の浸透を図る。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	福祉の仕事就職フェア オール岐阜・企業フェス開催事業	【地域福祉課】 【技術検査課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	実施費用の削減が図れるとともに、大規模化による集客拡大が期待できる。	